

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52323	子どもの健康と安全 (Children's health and safety)	中島 志保			1	選択	2年前期
科目の概要							
本科目は、子どもの健康の保持増進を目的とし、子どもの日々の健康観察と集団全体への健康支援についての方法を習得する。関連するガイドラインに基づき保育における衛生管理・感染症対策・アレルギー対応・事故防止・安全対策について理解する。また感染症対策・緊急時の対応・災害への備えについて、場面を想定し対応を身に付ける。さらに子どもの健康及び安全管理に関わる組織的な取り組みや、保健活動の計画及び評価について理解する。子どもの保健で学んだことを踏まえ「理論に基づく実践」を重視し保育の実践において、なぜそうなるかを理解する。（これらの内容はディプロマ・ポリシー③④⑥に相当する。）							
学修内容			到達目標				
① 保健的観点を踏まえた保育環境、子どもの発育と健康観察への援助について理解する。 ② 子どもの体調不良時の対応、子どもに起こりやすい事故と応急手当、救急蘇生、災害への備えについて理解する。 ③ 関連するガイドラインに基づき、保育所における感染症対策・アレルギー対応・事故防止及び安全対策について理解する。 ④ 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、子どもの発達や状況等に即した適切な対応について理解する。 ⑤ 子どもの健康及び安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の年間計画について理解する。			① 保育における保健的観点を踏まえた施設内外の環境、子どもの発育と健康観察の方法について述べ実践することができる。（DP③） ② 子どもの体調不良時の対応、子どもに起こりやすい事故と応急手当、救急蘇生、災害への備えと危機管理について述べることができる。（DP③⑥） ③ 保育所における感染症対策・アレルギー対応・事故防止及び安全対策について理解し行動を述べることができる。（DP③④⑥） ④ 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、子どもの発達や状況等に即した適切な対応について述べることができる。（DP③） ⑤ 子どもの健康と安全にかかわる保健活動の年間計画を踏まえ、子どもと保護者への健康教育ができる。保健活動における職員間の連携、専門機関・地域との連携について述べることができる。（DP③④⑥）				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	毎週予習を行い、授業・演習内容を把握し授業に臨むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	ア、子どもの健康と安全を考え、演習目標達成に向かって取り組むことができる。 イ、演習のふり返り・課題を積極的に実践し提出日を守る。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、子どもの健康状態や必要な対応等を的確に判断する能力を身につけることができる。					
	計画力						
	創造力	固定概念に捉われることなく様々な方向から子どもの健康支援を考えることができる。					
チームで働く力	発信力	技術演習や事例において、自分の考えを整理し相手に具体的に伝えることができる。					
	傾聴力	技術演習やグループワークでは、人の意見を傾聴し、さらに自分の意見を述べるができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	ア、遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 イ、授業終了時は、消しゴムなどの机上のゴミや演習で使用した物品をグループで協力して片付け、整理整頓して終えることができる。 ウ、欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：「これだけはおさえて！保育者のための子どもの健康と安全〔改訂二版〕」 編著者：鈴木美枝子 創成社 ￥2,500＋税 参考文献：「保育所保育指針」「保育所における感染症対策ガイドライン」「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」 演習材料費：500円 ・授業開始時に授業プリントを配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：子どもの保健 資格との関連：保育士							
学修上の助言			受講生とのルール				
・子どもの保健で学んだことを復習しておくこと。 ・テキスト・授業プリント・関連するガイドラインを用い、毎週予習・復習を必ず実施する。 ・日頃から母子保健に関心を持ち、新聞やニュース等を通し子どもの健康問題、子育てに関心を持つ。			・座席は指定です。授業開始時には着席し授業に臨んでください。遅刻はしないこと。 ・演習内容により、身だしなみを整える必要があります。エプロンの着用、髪をまとめる、アクセサリ類・時計を外すなど、保育者として望ましい服装で参加してください。身だしなみが必要な演習はオリエンテーションで説明します。 ・携帯電話は電源を切り、カバンにしまっておくこと。演習中の撮影は禁止とします。 ・演習は保育の現場を意識し「実際の乳幼児だったら」という意識を忘れずに臨んでください。 ・課題は期日までに指定された場所に必ず提出してください。 ・欠席した場合、各自配布資料を共同研究室へ取りに行くこと。配布資料は人数分印刷するため、紛失などした場合は他の学生からコピーをしてください。 ・演習材料費 500円				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓			到達目標①②③④⑤に対応した基礎的な知識を問う問題と事例問題を出題し評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト	10	①	✓			・授業内容についての小テストを2回実施する。小テストの点数を平均して評価する。 ①授業・演習内容を理解しているかを確認する。 ②穴埋め問題を出題する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		レポート	20	①	✓			・子どもの健康の保持増進、安全で健やかな成長・発達を促すための保健活動と健康支援を具体的に考えているかを評価する。課題の提出は授業計画に提示。 ①「事故防止・安全対策」自宅での危険箇所とその根拠及び対策をまとめる ②「生活習慣確立への支援」子どもに向けた健康教育の教材を作成する ③「ほけんだより」保護者に向けた健康教育として作成する ④「子ども虐待対策」事例から保育所における対応について考えまとめる ・演習をふり返り、学び・課題をまとめているかを評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） ・毎週予習を行い、授業・演習内容を把握し授業に臨む。 （実行力） ・子どもの健康と安全を考え、演習目標達成に向かって取り組む。 ・演習のふり返り・課題を積極的に実践し提出日を守る。 （課題発見力） ・事実に基づいて情報を客観的に整理し、子どもの健康状態や必要な対応等を的確に判断する能力を身につける。 （創造力） ・固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から子どもの健康支援を考える。 （発信力） ・技術演習や事例において自分の考えを整理し相手に具体的に伝える。 （傾聴力） ・技術演習やグループワークでは、人の意見を傾聴し、さらに自分の意見を述べる。 （規律性） ・遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・授業終了時は、机上的ゴミや演習で使用した物品を協力して片付け、整理整頓して終える。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・保育における保健的観点を踏まえた施設内外の環境について述べるができる。子どもの発育と健康観察について事例を用い説明することができる。 ・子どもの体調不良時の対応について事例を用い説明することができる。子どもに起こりやすい事故の特徴と応急手当、救急蘇生、危機管理・災害への備えについて具体的に説明することができる。 ・保育所における感染症対策・アレルギー対応・事故防止及び安全対策について、ガイドラインを理解し適切な対応を説明することができる。また事例を用い行動を説明することができる。 ・保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、子どもの発達や状況等に即した適切な対応について説明でき、また安全を考え行動できる。 ・保健活動の年間計画をもとに、子どもと保護者への健康教育に向けた教材を作成し工夫した指導ができる。保健活動における職員間の連携、専門機関・地域との連携について事例から具体的に説明することができる。 総合評価90点以上はS（秀）、89～80点はA（優）とする	・保育における保健的観点を踏まえた施設内外の環境について述べるができる。身体計測のポイントと健康観察の項目を挙げるができる。 ・子どもの体調不良時の対応についてポイントを挙げるができる。子どもに起こりやすい事故の特徴と応急手当、救急蘇生、危機管理・災害への備えについて説明することができる。 ・保育所における感染症対策・アレルギー対応・事故防止及び安全対策について、ガイドラインを理解し対応を説明することができる。また事例を用い行動のポイントを挙げるができる。 ・保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、子どもの発達や状況等に即した適切な対応について安全を考え行動できる。 ・保健活動の年間計画をもとに、子どもと保護者への健康教育に向けた教材を作成できる。保健活動における職員間の連携、専門機関・地域との連携について説明することができる。 総合評価79～70点はB（良）、69～60点はC（可）とする

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 保健的観点を踏まえた保育環境と援助 ・子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全の管理について理解する。 ・子どものバイタルサイン(体温・呼吸・脈拍)測定と健康観察について理解する。	講義 演習: 体温・呼吸・脈拍の測定	・子どもの健康と安全を守る保育環境について述べるができる。 ・バイタルサインの正しい測定方法を述べるができる。体温を正しく測定できる。	(予習)教科書P1～5、P149～155を読む。 (復習)①保健的観点を踏まえた保育環境について整理する。②体温を正しい方法で測定し、ふり返りにまとめる。バイタルサインの正しい測定方法と観察項目を覚える。(第9週小テスト)	45	主体性 実行力 課題発見力
2	保育における保健的対応① ・養護技術(乳児の抱き方・抱き下ろし方・おんぶ)について理解する。	・バイタルサイン測定 のふり返り提出 ・前回の質疑応答 ・講義、DVD視聴 ・演習: 乳児の抱き方・抱き下ろし方・おんぶを体験する※身だしなみを整えること	・乳児の特徴と発達に合った抱き方と注意点を説明することができる。 ・乳児を安全に抱っこ・おんぶできる。	(予習)教科書P6～10、P182～185を読む。 (復習)乳児の安全な抱き方・抱き下ろし方・おんぶの方法について整理する。	45	主体性 実行力 規律性
3	保育における保健的対応② ・「基本的生活習慣確立への支援」子どもに向けた健康教育の教材を作成する。	・前回の質疑応答 ・演習: 教材を作成	・子どもたちが興味関心を持つ教材を作成する。	(予習)保健指導のテーマを決め、資料を集める。 (復習)教材を完成させる。第6週提出。	45	主体性 実行力 創造力
4	子どもの成長発達の特徴と評価 ・乳幼児の身体計測について理解し安全に配慮し実践する。 ・発育評価について理解する。	・前回の質疑応答 ・講義、DVD視聴 ・演習: 身体計測、教科書ワークシート④ ※身だしなみを整えること	・乳幼児の身体計測の方法を述べるができる。 ・カウプ指数を計算し、判定表を見て結果を述べるができる。	(予習)①自分の母子健康手帳から発育経過を知る。②教科書P165～180を読む。 (復習)①教科書ワークシート④をふり返る。②身体計測の方法・発育評価について覚える。(第9週小テスト)	45	主体性 実行力 課題発見力
5	保健活動における職員間の連携・協働と関係機関との連携 ・保健活動における職員間の連携・協働について理解する。 ・家庭・専門機関・地域との連携について理解する。	オンデマンド ・講義(5月12日Google Classroomにてパワポ配信) ・レポート課題: 事例「虐待を疑って」保育所での対応を整理し、問題点・課題・対策をまとめ、Google Classroomに提出。提出期限6月9日。	・保健活動に関わる他職種の役割について述べるができる。 ・虐待を疑った場合の保育者・保育所の対応を挙げることができる。	(予習)①教科書P250～258を読む。②保育所での保健活動に関わる職種を書き出す。 (復習)保育所における職員間や家庭との連携、専門機関や関係機関の役割を整理する。	45	主体性 課題発見力 創造力
6	保育環境・衛生管理 ・主な環境衛生の基準、施設内外の衛生管理について理解する。 ・手指衛生(手洗い・手指消毒)について理解し実践する。	・第3週「健康教育」提出 ・前回の質疑応答、小テスト(第1・2・4週)およびフィードバック ・講義、DVD視聴 ・Google Classroom「保育所における感染症対策ガイドライン」提示 ・演習: 手指衛生(手洗い・手指消毒)※身だしなみを整えること	・環境衛生の基準について述べるができる。 ・消毒薬を上げることができる。遊具の消毒について説明することができる。 ・手洗い・手指消毒が効果的に実践できる。	(予習)①教科書P11～26、P121～122を読む。②日頃の手洗いをスマートフォンで撮影する。 (復習)①「保育所における感染症対策ガイドライン」を読む。保育環境・衛生管理を覚える。(第9週小テスト)②日頃の手指衛生と比較し、効果的な手指衛生についてふり返り自己の課題をまとめる。	45	主体性 実行力 創造力
7	感染症対策 ・感染症の集団発生の予防について理解する。 ・個人防護具の安全な着脱について理解する。 ・感染性嘔吐物の処理について理解する。	・前回の質疑応答 ・講義 ・Google Classroom「保育所における感染症対策ガイドライン」提示 ・演習: エプロンの作成、個人防護具(エプロン・手袋)の着脱 ※身だしなみを整えること	・標準予防策について述べることができる。 ・個人防護具の着脱が安全に実施できる。	(予習)教科書P16～19、P119～124、P143～147を読む。※使い捨てエプロン作成用の大きなごみ袋(700)、はさみ、メジャー、油性ペンを持参する。 (復習)標準予防策、個人防護具の着脱、嘔吐物の処理についてポイントを覚える。	45	主体性 実行力 課題発見力
8	事故防止と安全管理 ・子どもの発達・特性と事故の特徴を理解する。 ・保育中の事故防止の取り組みと施設内外の安全管理について理解する。	・前回の質疑応答 ・講義 ・Google Classroom「教育保育施設等における事故防止及び事故発生時のためのガイドライン」提示 ・演習: 教科書ワークシート②	・子どもの発達と事故の特徴について述べることができる。 ・保育所における重大事故の起こりやすい場面と注意すべきポイントを挙げることができる。	(予習)①教科書P27～40、P200～201を読む。②発達段階の怪我や事故について調べる。 (復習)①保育中の事故防止の取り組みについて整理する。(第12週小テスト)②自宅での危険箇所を発見し、その対策についてまとめる。次回提出。	45	主体性 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	子どもの体調不良等に対する適切な対応① ・体調不良時（発熱・下痢・嘔吐・咳・発疹・腹痛・けいれん・脱水）における観察・対応について理解する。	・前回の課題提出 ・小テスト（第1・4・6週）およびフィードバック ・講義、DVD視聴 ・演習：事例「体調不良等に対する適切な対応」	・体調不良時の子どもの観察項目を挙げることができる。 ・症状別対応のポイントを挙げることができる。	（予習）教科書P52～82、「保育所における感染症対策ガイドライン」を読む。 （復習）①事例をふり返る。②症状別対応を整理し覚える。（第12週小テスト）	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
10	子どもの体調不良等に対する適切な対応② ・主なケガ等（傷・出血・骨折・鼻出血・火傷・熱中症など）における対応について理解する。	・前回の質疑応答 ・講義 ・演習：三角巾の取り扱い ※身だしなみを整えること	・応急手当の基本を述べるができる。	（予習）①自分が体験した火傷、鼻出血、熱中症等について原因、状況と対処を年齢とともに書き出す。②教科書P83～108を読む。 （復習）①応急手当のポイントを整理し覚える。（第12週小テスト）	45	主体性 課題発見力 規律性
11	子どもの体調不良等に対する適切な対応③ ・乳幼児の心肺蘇生法について理解する。 ・乳幼児の気道異物除去法について理解する。	・前回の質疑応答 ・講義、動画視聴 ・演習：①心肺蘇生法のポイント②事例「心肺停止の子どもを発見した際の対応」 ※身だしなみを整えること	・乳幼児の心肺蘇生法のポイントを述べるができる。 ・乳幼児の気道異物除去法のポイントを述べるができる。	（予習）教科書P109～117を読む。 （復習）①Google Classroomに提示した動画を用い、心肺蘇生法をふり返りまとめる。②乳幼児の心肺蘇生法・気道異物除去法のポイントを整理し覚える。（第12週小テスト）	45	主体性 課題発見力 発信力
12	保育における保健活動の計画及び評価 ・保育における保健活動と年間保健計画の立案及び評価について理解する。 ・「ほけんだより」作成する。	・小テスト（第8～11週）およびフィードバック ・講義 ・演習：「ほけんだより」作成	・月・季節に合った保健活動を挙げることができる。 ・季節に合った「ほけんだより」が作成できる。	（予習）①教科書P247～250を読む。②「ほけんだより」の資料を準備する。※資料・色鉛筆を持参する。 （復習）「ほけんだより」を完成させ、第13週に提出。	45	主体性 実行力 創造力
13	災害への備えと危機管理 ・危機管理と災害への備えについて整理する。 ・災害時の対応について整理する。	・第12週の課題提出 ・「子どもに向けた健康教育」グループ内で発表およびフィードバック ・講義、DVD視聴 ・演習：「災害への備え」	・子どもの保育時の危機管理を理解できる。 ・災害発生時の対応・対策について理解できる。	（予習）①教科書P41～50を読む。②自宅でのような災害への備えをしているかを挙げる。 （復習）災害への備えについて整理する。	45	創造力 発信力 傾聴力
14	個別的な配慮を要する子どもへの対応 ・アナフィラキシー発現時における対応について理解する。 ・エピペン®注射の取り扱いについて理解する。	・前回の質疑応答 ・講義、DVD視聴 ・Google Classroom「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」提示 ・演習：エピペン®注射の取り扱い、事例「アナフィラキシー発現時の対応」	・アナフィラキシー・アナフィラキシーショックの症状について述べるができる。 ・アナフィラキシー発現時における対応の流れを述べるができる。	（予習）教科書P214～222、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」アナフィラキシーを読む。 （復習）事例「アナフィラキシー発現時の対応」をまとめ、対応を覚える。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
15	障害のある子どもへの対応 ・聴覚障害、視覚障害のある子どもの特徴について理解し、保育における配慮を理解する。	・前回の質疑応答 ・講義 ・演習：弱視体験メガネの作成および体験	・聴覚障害、視覚障害の子どもの特徴を挙げることができる。 ・保育における配慮を挙げることができる。	（予習）教科書P240～241、「障害のある子どもへの対応」を読む。※はさみ、テープ、輪ゴム4本を持参する。 （復習）①弱視体験から、保育士の役割を考えまとめる。②障害のある子どもへの対応について整理する。	45	課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力